

# いのちをつなぐ

どろっぴ BOSAI くらぶ編

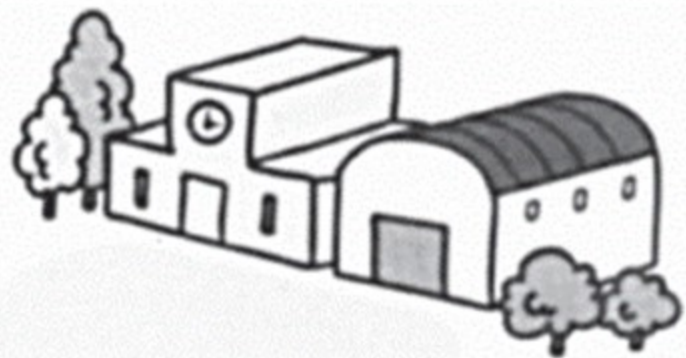


# どこに避難する？

①まずは「いっとき避難場所」へ  
どろっぴの場合：ライフ(スーパー)

②家屋倒壊などで自宅へ戻れないときは  
「地域防災拠点」へ  
どろっぴの場合：太尾小学校

震災時避難場所（地域防災拠点＝市立の小中学校）



③大火災発生で危険な時は  
「広域避難場所」へ  
どろっぴの場合：港北高校



広域避難場所

# 自宅？ 避難所？

自宅が安全なら家が一番！

小さいお子さんのいる家庭は、  
自宅をシェルターにできると  
万が一のときに安心です。



# 避難バッグは分けて考える

①緊急避難バッグ：ママバッグ

# 避難バッグは分けて考える

①緊急避難バッグ：ママバッグ

②一次避難バッグ：いわゆる非常持ち出し袋

当座の食糧、安全グッズなど。

子供を抱いて逃げるときにかつげる重量で！！

# 避難バッグは分けて考える

①緊急避難バッグ：ママバッグ

②一次避難バッグ：いわゆる非常持ち出し袋  
当座の食糧、安全グッズなど。  
子供を抱いて逃げるときにかつげる重量で！！

③二次避難バッグ：  
安全が確認できた時に自宅へ取りに戻る、  
または自宅で使う  
3日～一週間分の食糧、水など。

おすすめ!

# すぐにできるローリングストック

賞味期限を  
切らさない  
ストックの方法!

1人9食分  
(3日分)

+  
人数を  
買って棚に収納



自分や子供の好物を  
ストックしておく  
被災時の  
心の助けにも...

1



食べた分を買い足して棚へ

3

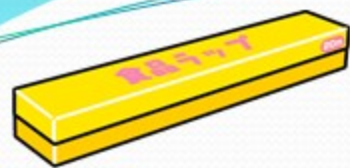
2

食べる

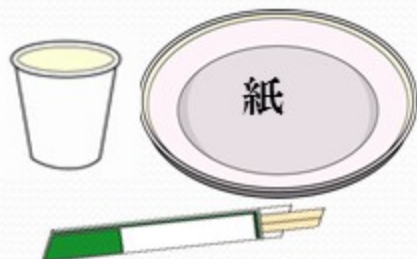


今日は疲れたから  
ストックで  
手抜きごはん!

# 福島のママが経験した、役に立ったもの・こと



紙皿の上にしくと紙皿を何度でも使える。



洗わなくていいので水が出ないときは便利。



ランタン  
ろうそくよりも明るく危なくない。

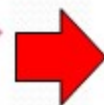
手、顔、体をふいたりできる。  
だいぶさっぱり！



電気を使わずに暖をとることができ、ストーブの上で鍋を温められる  
(子どもはやけどに注意！)



ガスや電気がなくても温かいものを調理できる。(コンロ用のガスも準備)



クーラーバックに保冷剤を入れ冷蔵庫代わりにした(1日ぐらいは大丈夫。)



水をためておくとトイレの水に使える  
(小さな子どもがいるときは注意！)



バケツでタンクに水をいれて流す  
(直接バケツで便器から水を流すと水が飛び散る。)

## 役に立たなかった物

ろうそく  
倒れたら危ない、火傷の危険。



防災ずきん  
揺れているときに子供が取りに行こうとするので危険。

だんごむしのポーズ、バッグや座布団など身の回りのもので頭を守る。